

伝えたい、守りたい、まちの宝物

【File No. 12 | 大井宿本陣跡 おおいしゆくほんじんあと】



昨年度に保存修理事業が完了した表門と塀

本陣は、江戸時代以降の宿場で大名や旗本、幕府役人、勅使、宮、門跡などの宿泊所として指定された家である。大井宿の本陣は大井町横町と本町の角にあり、間口24間(約43<sup>㍍</sup>)、奥行22間(約40<sup>㍍</sup>)の高塀付きの敷地の中に約151坪(約498平方<sup>㍍</sup>)の建物が建っていた。

明治期には、恵那郡役所仮庁舎としても利用された。昭和22年、火災で大半を焼失したが、表門と高塀、庭園が往時の面影を伝えており、昭和35年に県史跡に指定されている。

表門は、持ち送りの彫刻や墓股(梁の間にある構造物、装飾)の形から、1700年前後(元禄～宝永ごろ)に建てられたと推定される。やや小規模だが、瓦ぶきの屋根に反りを持たせた華麗な造りで、今も昔も大井宿の象徴として市民から親しまれている。

ひとロメモ

東側の高塀沿いに本陣の裏に進むと、和宮降嫁の折にこの水をくんで提供したという井戸と、大井小学校が城跡だった戦国時代に城の守護神として祭られていたという内城稲荷や伝説の人物「吉村源斎」ゆかりの根付け石がある。本陣と一緒に見学したい場所である。

恵那写真館

私の大好きな1枚  
(撮影地：阿木川ダム)

大井町 北原隆義さん



桜が満開となった阿木川ダム。あまりの美しさに立ち寄ると、桜と桜の間から噴水が見える光景に出会いました。



噴水

皆さんの  
大好きな風景を  
気軽に応募くだ  
さい!

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は  
5月15日号  
発行日は  
5月15日(木)です



広報えな No.219

2014年(平成26年)  
5月1日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係  
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1  
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』5月1日号、  
1部当たりの印刷経費は  
約9.0円(税込み)です。



◀市ウェブサイト  
(閲覧用QRコード)  
あなたの知りたい情  
報を分かりやすく提  
供しています。



◀市メール配信サービス  
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶  
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

